

2013年9月期 決算説明会

2013年11月29日
代表取締役社長 廣谷 彰彦



プレゼンテーション・アウトライン

- I : ACKグループのご紹介
- II : 今回の決算説明会のポイント
- III : 2013年9月期 経営方針
- IV : 2013年9月期 通期業績ハイライト
- V : 今後の展開(中期経営計画ACKG2013の推進)
 - 1. 現状の認識
 - 2. 中期経営計画ACKG2013
 - 3. 2014年9月期～2016年9月期 3ヶ年の目標
- VI : 2014年9月期 通期業績見通し
- VII : 質疑応答

APPENDICES

ー主要トピックス、連結決算詳細

I : ACKグループのご紹介



ACKグループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、
確実に成長してまいりました。

1957年	○株式会社オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成し、グループ経営を開始
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、株式会社ACKグループを創立 ○株式会社オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画

1957年～



ORICONSUL



1999年～



ORICONSUL
GROUP



2006年～



ACKG

ACKグループの提供サービス

海外・民間・国内公共の社会インフラを対象に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】ACKグループが対象とする社会インフラ(抜粋)

グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している5社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、地下水、建造物解体、施工 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・測量・計器類 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・設計・施工管理・維持管理 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	ソフトウェア開発・販売、総務・経理、人材マネジメント など

Ⅱ：今回の決算説明会のポイント

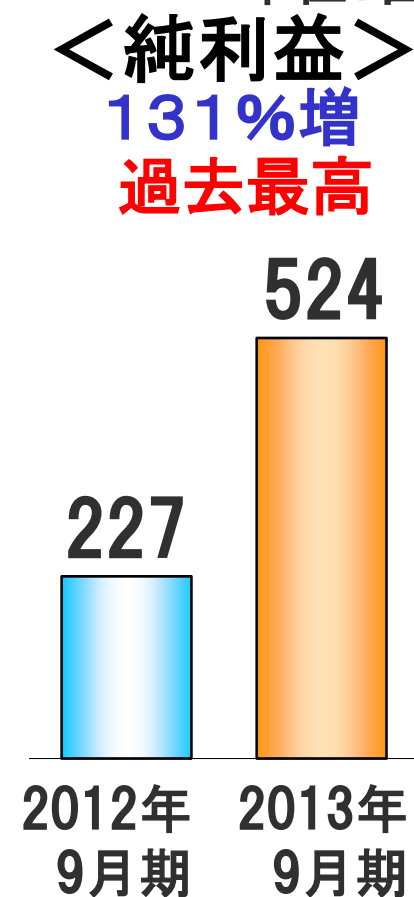
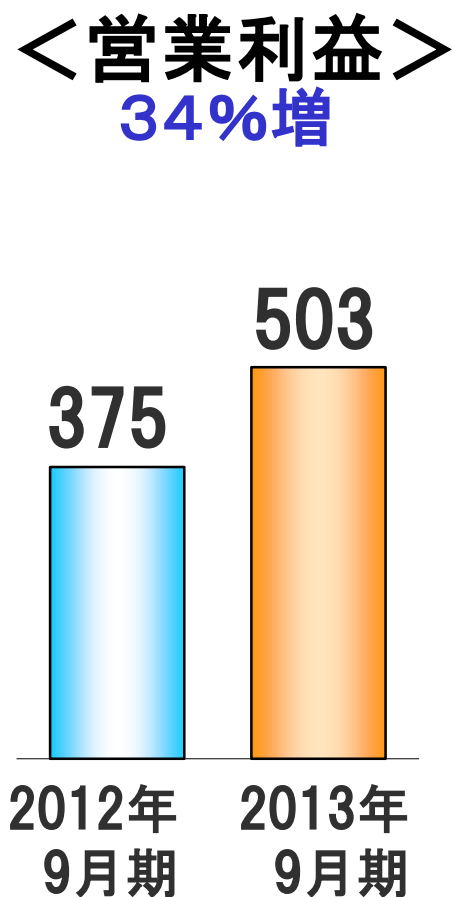
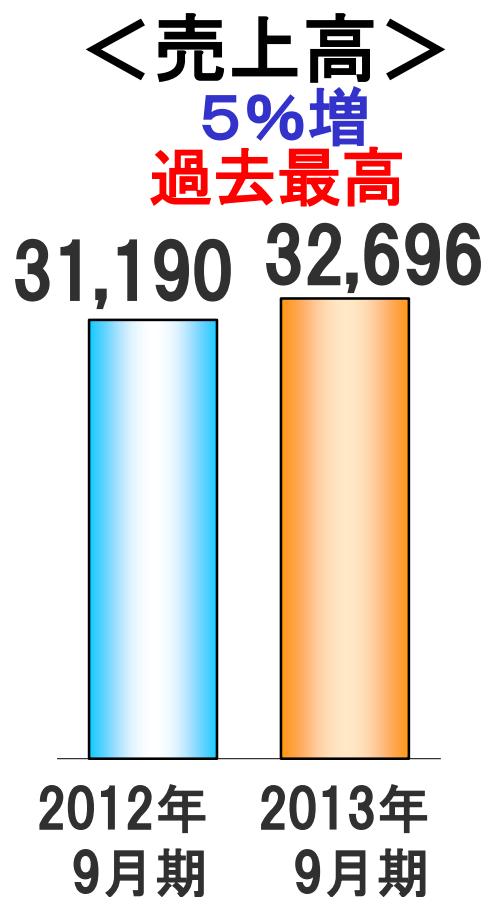


今回の決算説明会のポイント

1

前期業績に対し、増収・増益 売上高、純利益は過去最高額

単位：百万円



今回の決算説明会のポイント

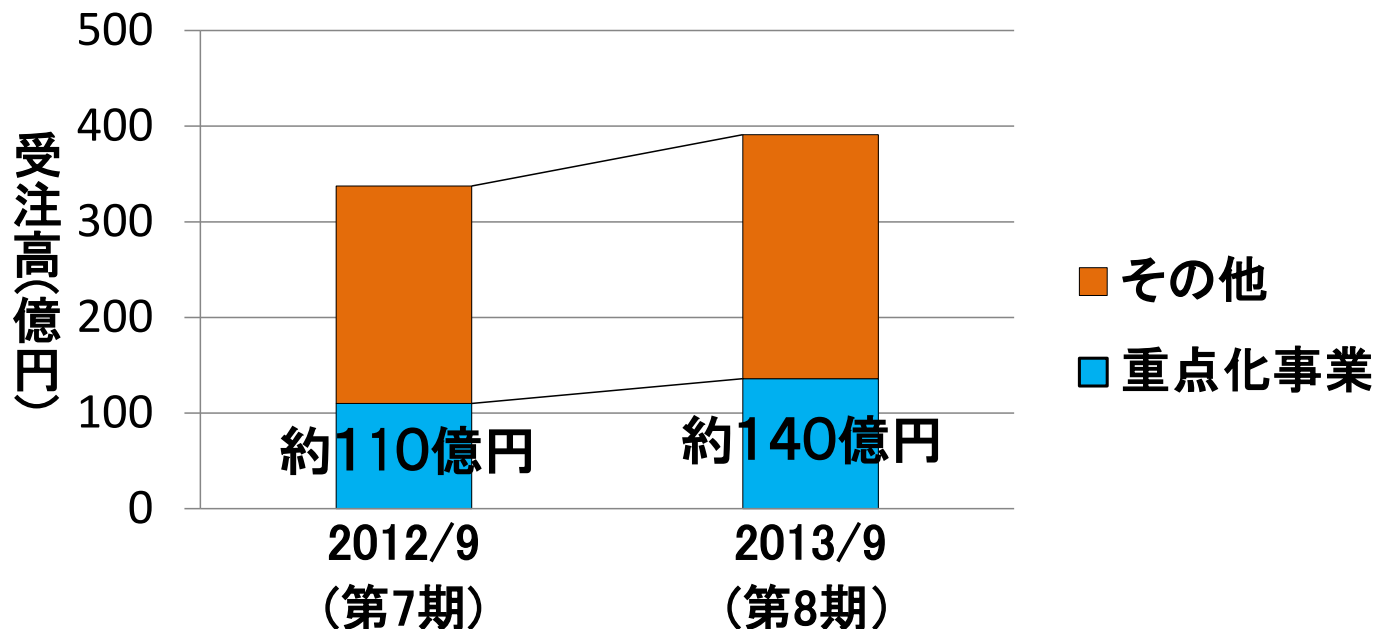
2-1 中期経営計画ACKG2013は着実に推進

●社会インフラ創造企業の推進

✓自らが投資する事業経営を拡大

●「技術の深化」と「新たな事業創造」による事業拡大

✓6つの重点化事業を強力に推進し、事業拡大を加速

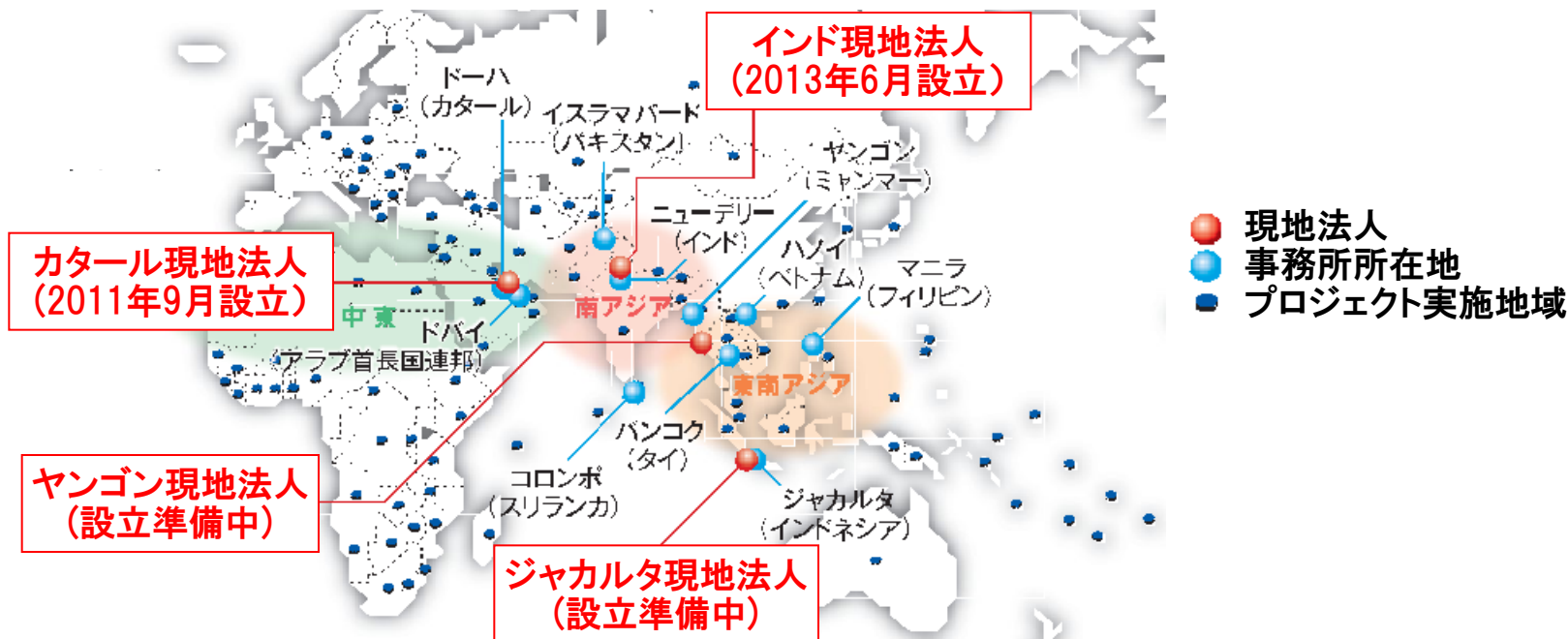


今回の決算説明会のポイント

2-2 中期経営計画ACKG2013は着実に推進

●国内外シームレスな共同体実現に向けた育成、連携

- ✓現地法人設立など海外拠点の拡充を推進
- ✓グローバル人材育成の強化



Ⅲ:2013年9月期 経営方針



2013年9月期 経営方針

■中期経営計画ACKG2013を着実に推進するための、
経営方針を設定

<強みの活用>

◆交通運輸事業、海外事業の強みを活かし、
グループの力を結集し、ワンストップで推進

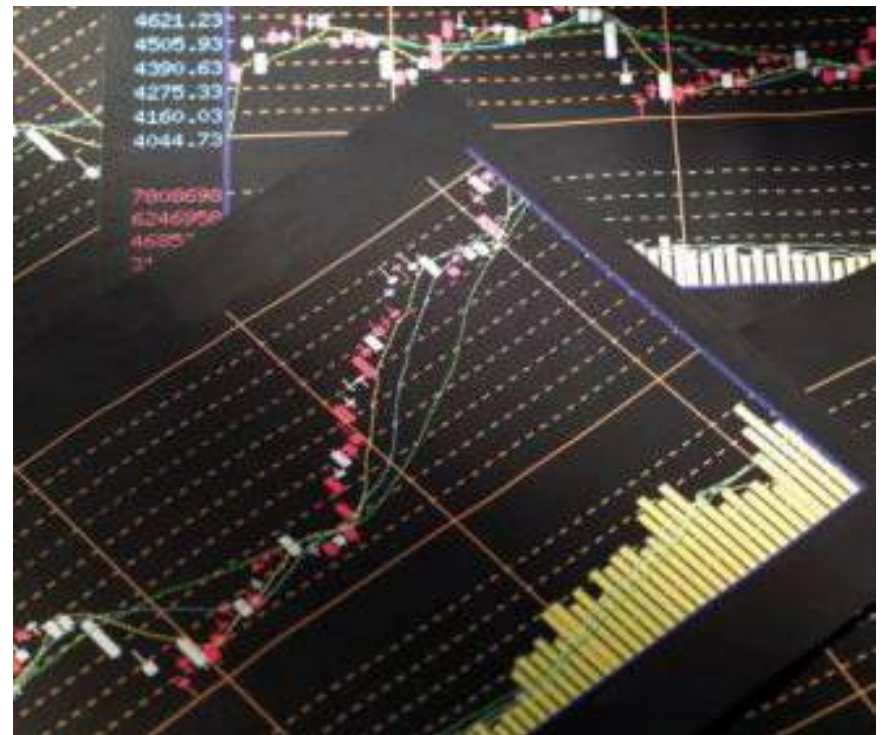
<事業開拓>

◆「技術の深化」と「新たな事業創造」により、
公共から民間へ、世界へ

<育成と連携>

◆国内外から人が集い、育ち、
国内外シームレスな共同体の実現

IV:2013年9月期 通期業績ハイライト



連結受注高

■前期比で約34億円(9.8%)増

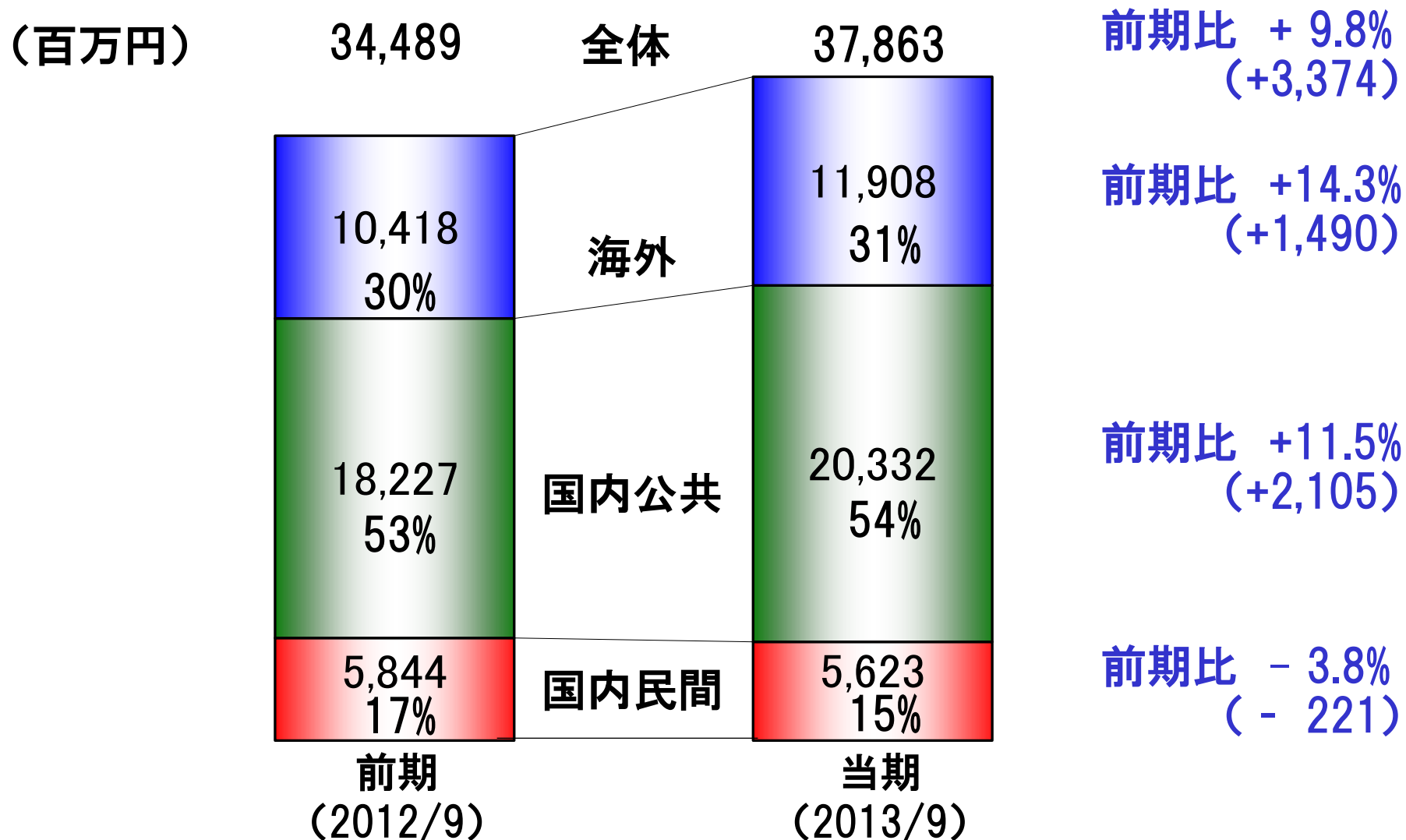
- 重点化事業の推進等により、大幅増加
- 受注残高も大幅に増加、今後の売上に貢献

	(百万円)			
	前期 (2012/9)	当期 (2013/9)	増減	計画値
受 注 高	34,489	37,863	↑ + 3,374 (+ 9.8%)	—
受注残高 [※]	34,310	39,477	↑ + 5,167 (+15.1%)	—

※受注残高: 受注済で生産中の契約総額

連結受注高 3軸経営分野別

■国内公共、海外が好調、来期以降の売上拡大に寄与



連結売上高

■前期比1,506百万円(4.8%)増

➤ 国内公共、民間の受注好調により、**過去最高の売上高**

(百万円)				
	前期 (2012/9)	当期 (2013/9)	増減	計画値
売上高	31,190	32,696	↑ + 1,506 (+4.8%)	33,400

連結売上高 3軸経営分野別

■国内外とも、売上増大

(百万円)	31,190	全体	32,696	前期比 + 4.8% (+1,506)
	8,926 29%	海外	9,766 30%	前期比 + 9.4% (+840)
	15,643 50%	国内公共	16,430 50%	前期比 + 5.0% (+787)
	6,621 21%	国内民間	6,500 20%	前期比 - 1.8% (-121)
前期 (2012/9)			当期 (2013/9)	

連結損益

■営業利益、経常利益、当期純利益が増益

➤ 経費の節減と、技術の深化による原価低減等で増益

当期純利益は、過去最高額

(百万円)

	前期 (2012/9)	当期 (2013/9)	増減	計画値
営業利益	375	503	↑ + 128 (+34.1%)	470
経常利益	345	631	↑ + 286 (+82.9%)	430
当期純利益	227	524	↑ + 297 (+131%)	410

貸借対照表(B/S)

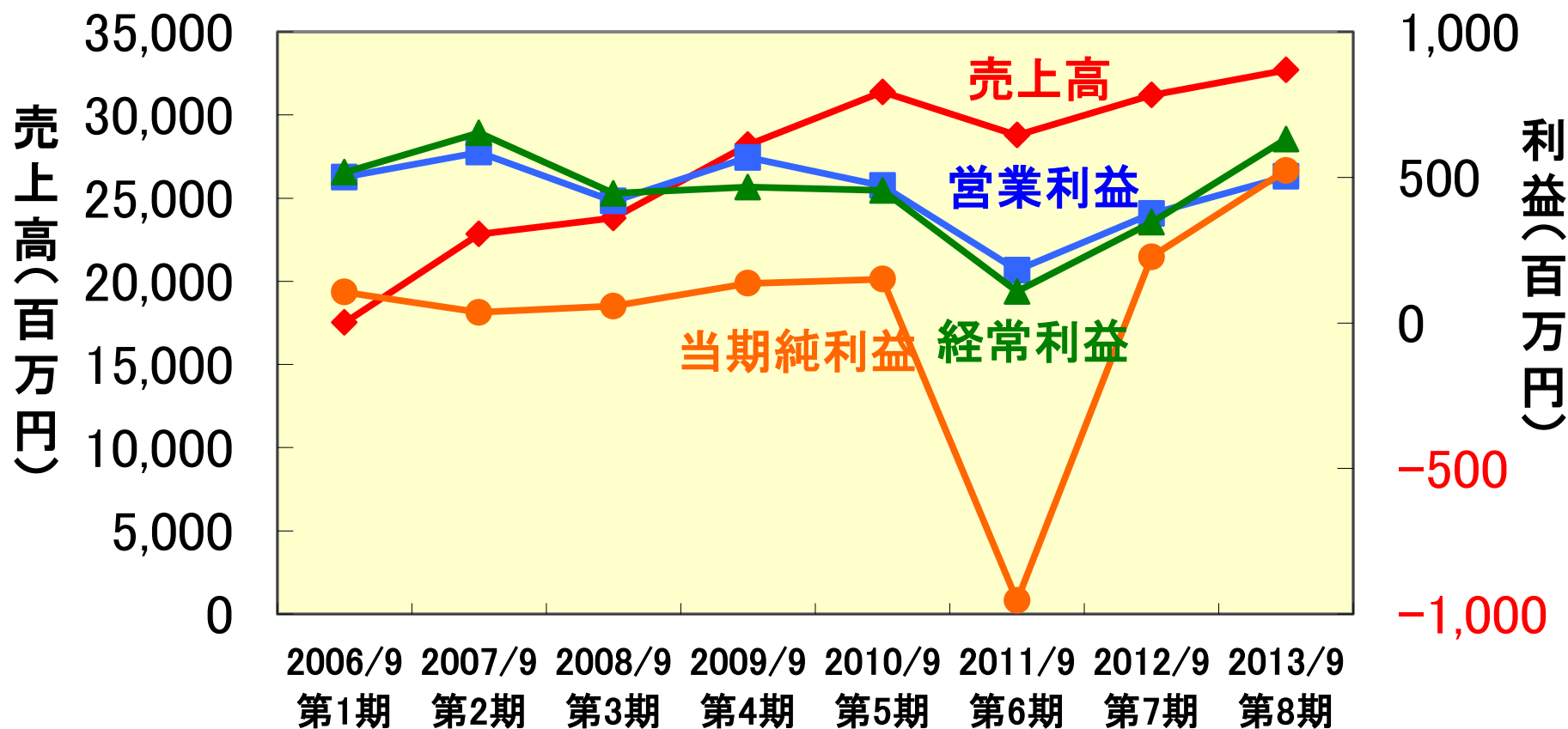
■有利子負債の減少により、負債が減少

➤借入金の返済、社債の償還により減少

	(百万円)		
	前期 (2012/9)	当期 (2013/9)	増減
有利子負債	2, 300	1, 497	↓ 803 (－34. 9%)

通期業績の推移

■売上高、当期純利益が過去最高額



Ⅵ: 今後の展開

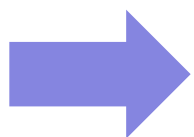
－ 中期経営計画ACKG2013の推進 －



1. 現状の認識

■国内事業

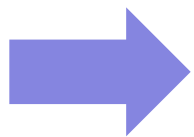
- ・震災復興、第2次安倍内閣の国土強靱化計画等により、
建設業界は活況。
- ・国や地方の財政が厳しい状況に変わりはなく、
政策転換が起こらないとは限らない。



5年、10年後も安定経営とするため、
従来の枠に捉われず、事業の間口を広げていく。

■海外事業

- ・円借款を含むODAは減少傾向。
- ・アベノミクスの成長戦略では、インフラシステム輸出の
世界市場での受注額を2020年までに30兆円に拡大の方針。
- ・民間資金ならびに我が国の優れた技術・ノウハウを
活用した、民活型インフラ整備の期待が高まる。



インフラ事業への更なる貢献に向け、
人材育成、基盤整備、グループ内外の連携強化により、
グローバル化を加速していく。

2. 中期経営計画ACKG2013

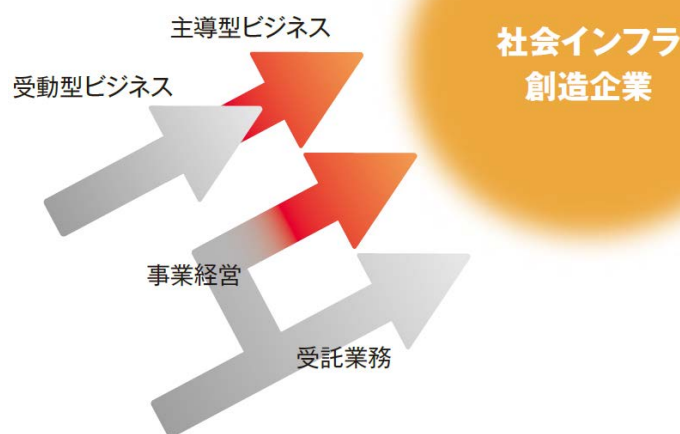
株式会社ACKグループ 中期経営計画

ACKG 2013

— 社会インフラ創造企業をめざして —

(1)スローガン

社会インフラ創造企業
～自らが社会を創造する担い手となる～



チェンジ
[変 革]

受動型ビジネスから
主導型ビジネスへの転換

受動型
ビジネス



主導型
ビジネス

チャレンジ
[挑 戦]

自らが投資し、
事業者としてインフラビジネスを推進

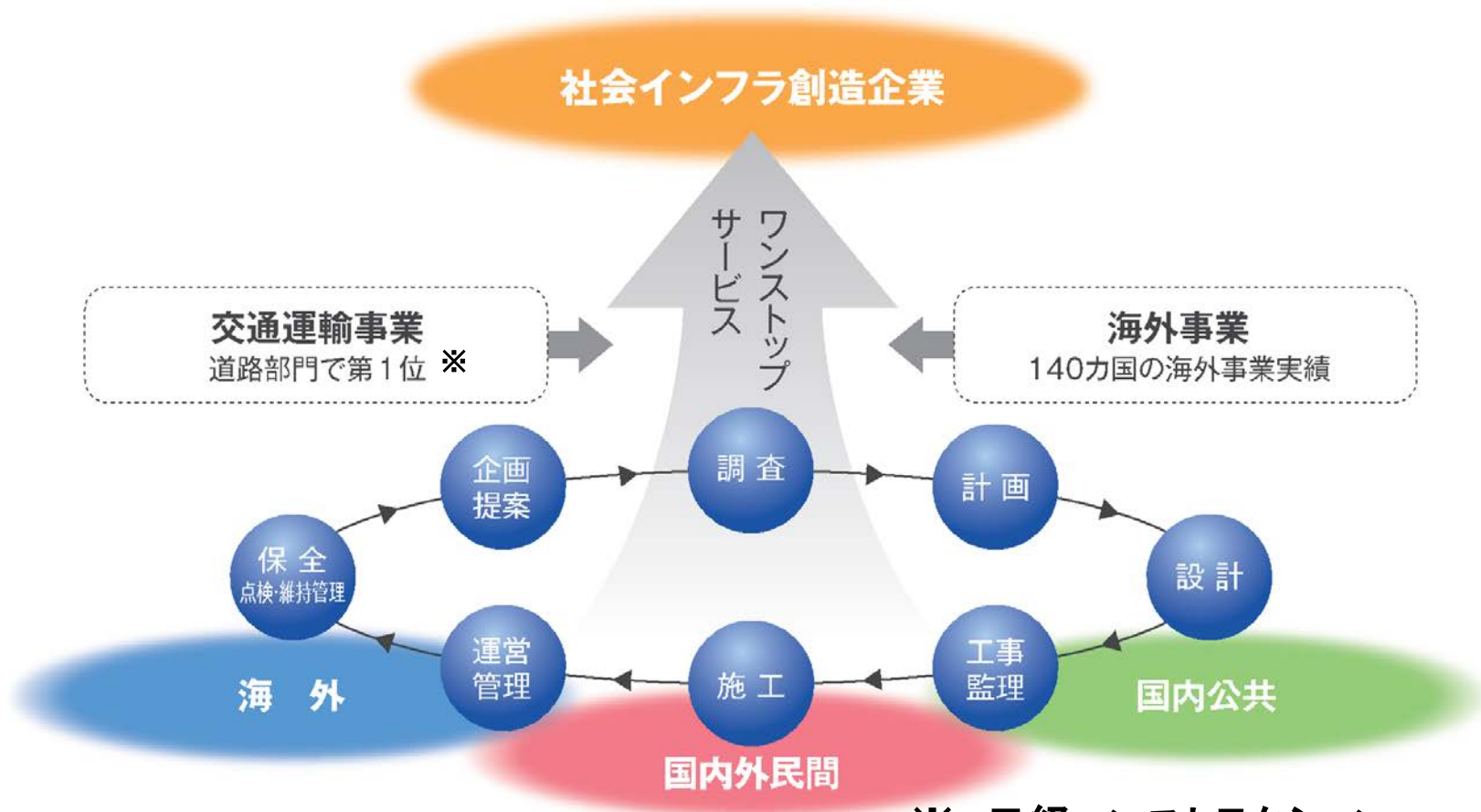
受託業務



事業経営

(2)基本方針1:強みの活用

交通運輸事業、海外事業の強みを活かし、
グループの力を結集し、ワンストップで推進



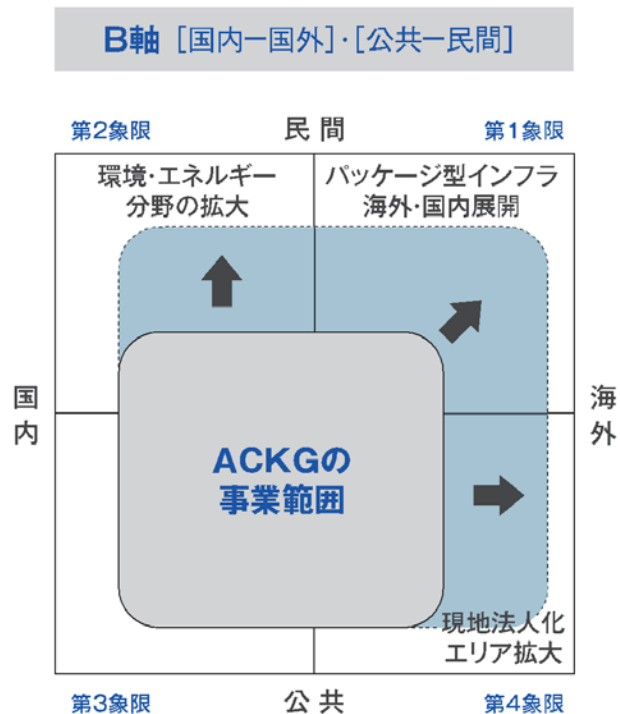
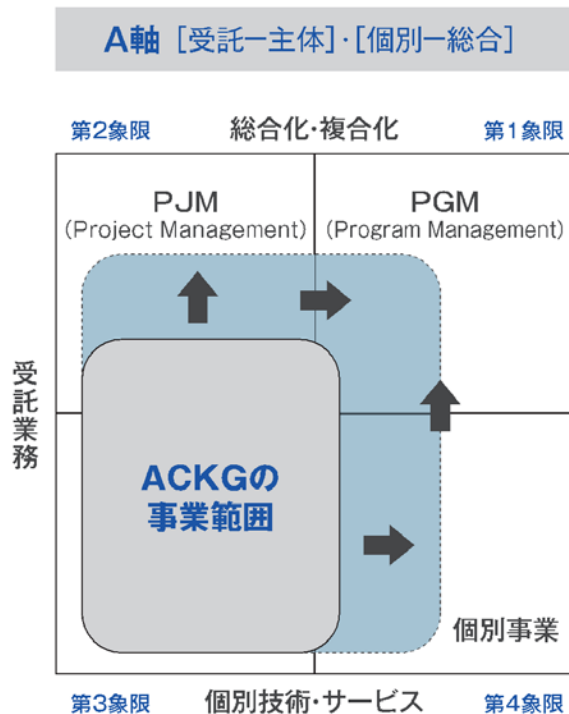
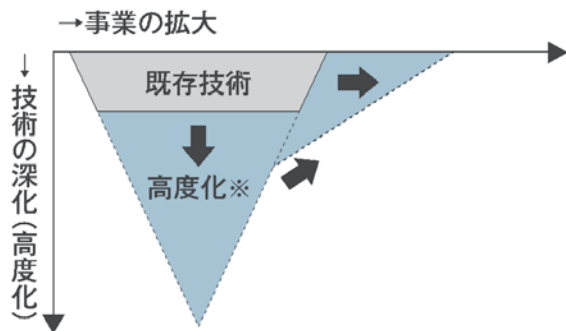
※ 日経コンストラクション
2013年9月号(日経BP社)より

(3)基本方針2:事業創造

「技術の深化」と「新たな事業創造」により、
公共から民間へ、世界へ

〔技術の深化〕

〔新たな事業創造〕



(4)基本方針3: 育成と連携

国内外から人が集い、育ち、
国内外シームレスな共同体の実現

- ・グローバル人材の育成
- ・女性管理職の育成
- ・基盤整備



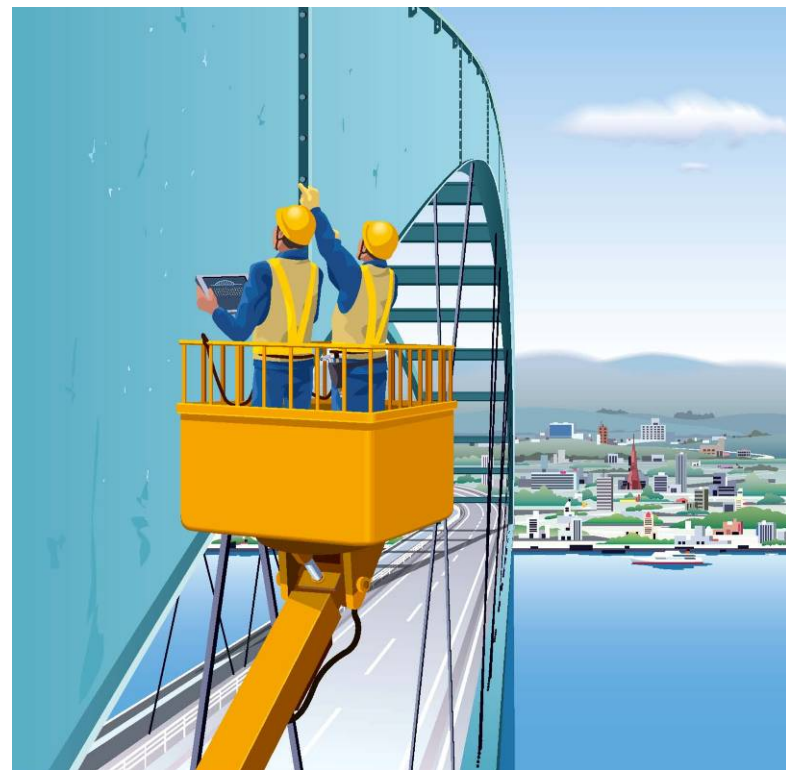
(5)目標

- 計画初年度（2013年9月期）の目標は、ほぼ予定通り推進
- これを踏まえ、ACKG2013の基本方針、目標を堅持し、更に推進

【2020年(第15期) ビジョン】

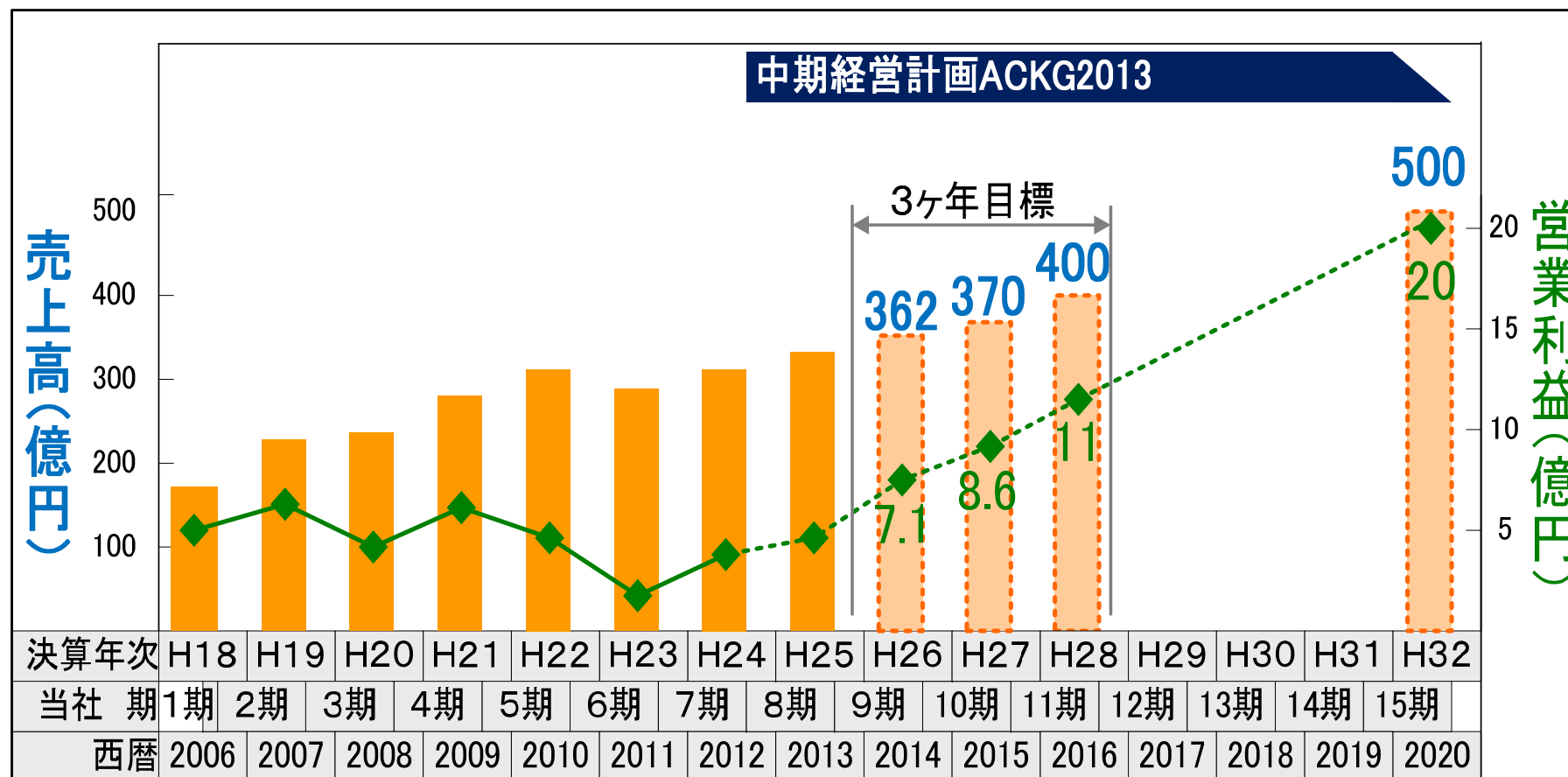
売上高	500億円以上
営業利益	20億円（対売上高4.0%）以上
組織・人材	グローバル人材150人以上増加 女性管理職15人以上増加

3. 2014年9月期～2016年9月期 3ヶ年の目標



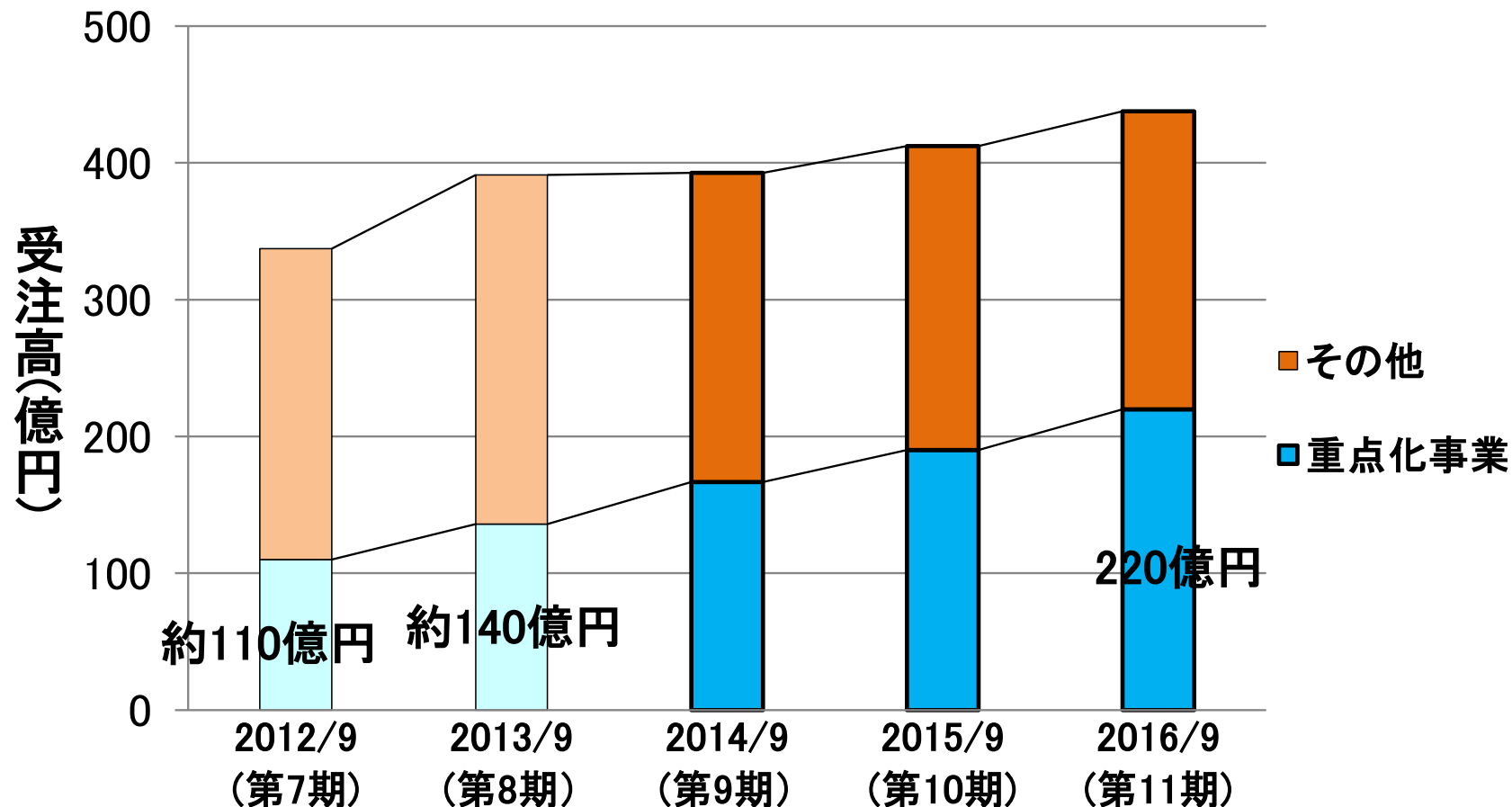
(1)事業拡大

- 2016年9月期は、売上高400億円、営業利益11億円を達成
- 安定的成長を維持し、2020年ビジョンを達成



(2)重点化事業の拡大

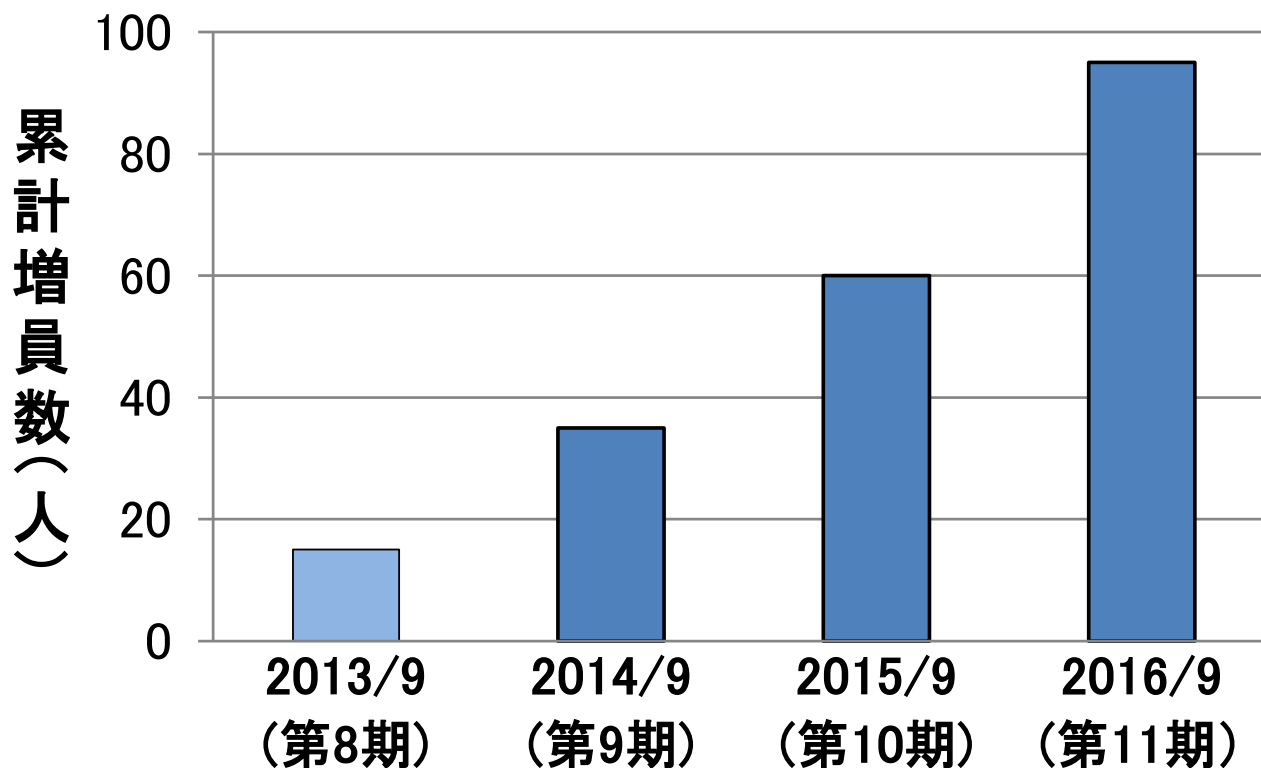
■重点化事業を、2016年9月期には220億円、受注高全体の約5割に



中期経営計画ACKG2013

(3)グローバル人材の増員

■ 2016年9月期まで、約100人増員

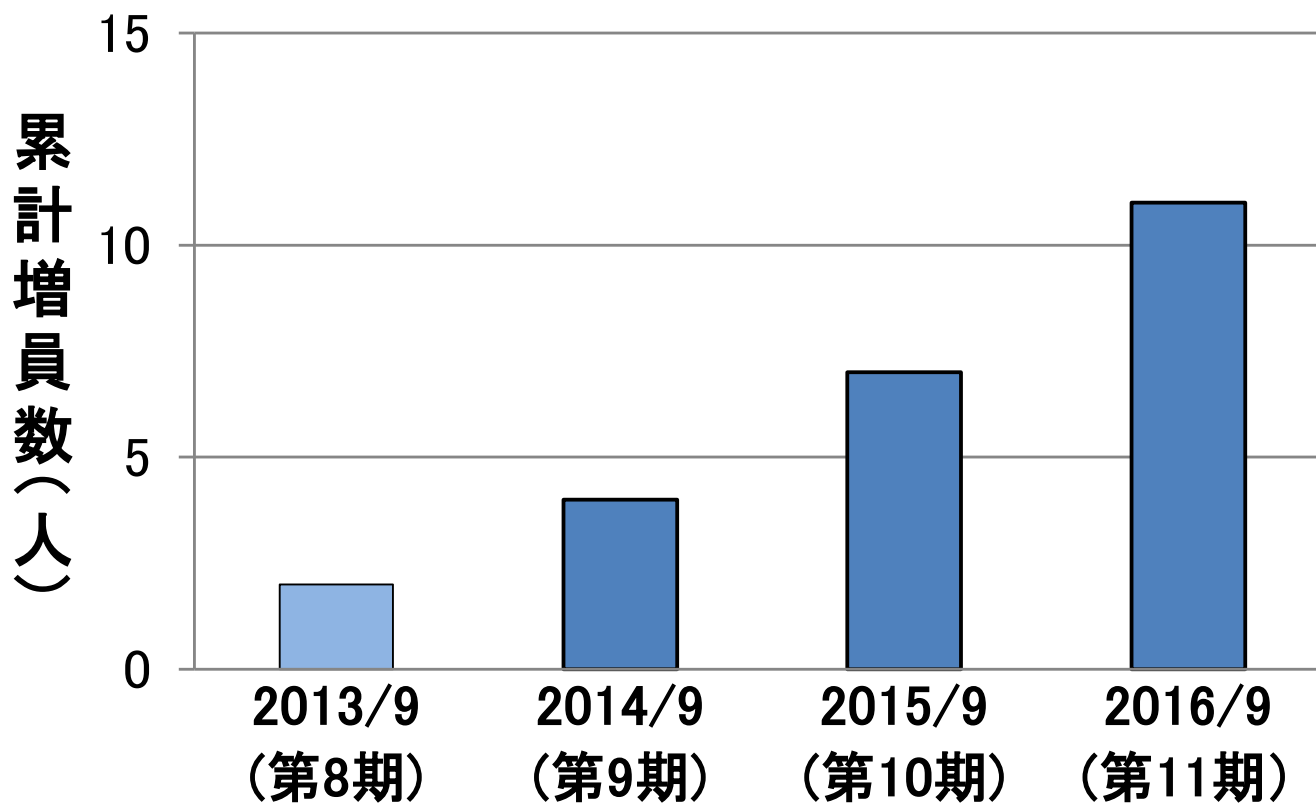


中期経営計画ACKG2013

※グローバル人材: 弊社グループ内の定義による、海外業務従事可能者

(4)女性管理職の増員

■ 2016年9月期まで、約10人増員



中期経営計画ACKG2013

VI:2014年9月期 通期業績見通し



(1)2014年9月期通期業績見通し

- 事業拡大による売上高の増大
- 技術の深化、経費削減による利益の拡大

	当期 (2013/9)	来期 (2014/9)	増減
売上高	32,696	36,200	↑ +3,504 (+10.7%)
営業利益	503	710	↑ +207 (+41.1%)
経常利益	631	670	↑ +39 (+6.1%)
当期純利益	524	510	↓ -14 (-2.8%)

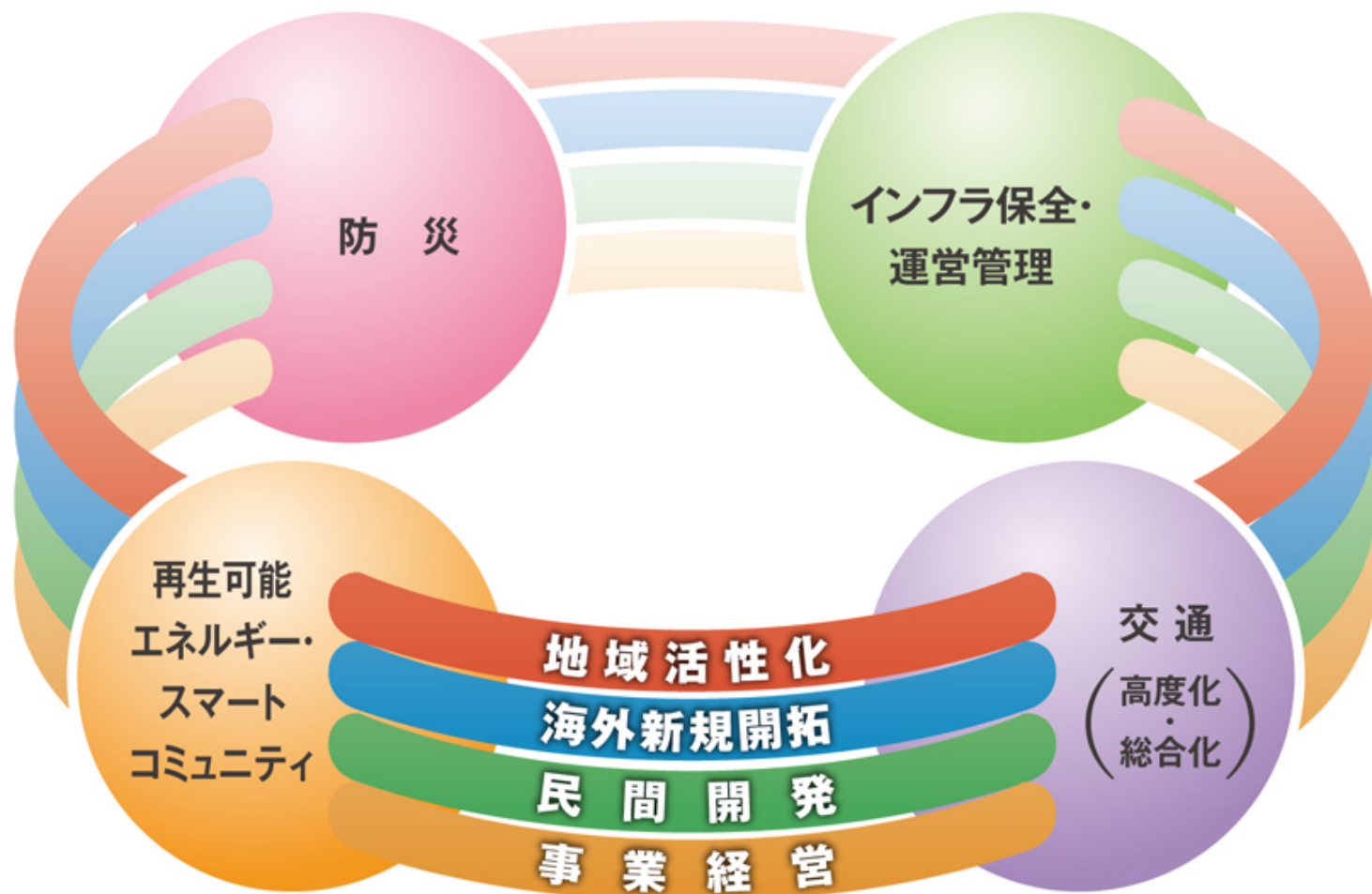
(2)2014年9月期売上高の3軸内訳

- グローバルな展開により、海外売上高を拡大
- 重点化事業による事業拡大により、3軸ともに売上を拡大

		(百万円)		
		当期 (2013/9)	来期 (2014/9)	増減
売上高		32,696	36,200	↑ +3,504 (+10.7%)
内訳	海外	9,766 (30%)	11,570 (32%)	↑ +1,804 (+18.5%)
	国内公共	16,430 (50%)	17,575 (48%)	↑ +1,145 (+7.0%)
	国内民間	6,500 (20%)	7,065 (20%)	↑ +565 (+8.7%)

(3)事業拡大

- 重点化事業に、「事業経営」「地域活性化」を追加
- 4つの個別事業と、4つの統合事業により新たな事業創造を推進



(3)事業拡大

- 期首時点(2013年10月)で52件以上の重点化プロジェクトを始動
- 2013年10月以降、更に増加

重点化事業		2014年9月期 重点化PJ		(参考)過去件数	
		ACKG	各 社	2013年9月期	2012年9月期
①	インフラ保全・運営管理	3	7	12	2
②	防 災	2	7	6	2
③	再生可能エネルギー/スマートコミュニティ	5	3	7	4
④	交 通(高度化・総合化)	2	6	5	2
⑤	民間開発	1	5	4	2
⑥	海外新規開拓	3	2	4	1
⑦	事業経営	1			
⑧	地域活性化	3			
⑨	その他		2	2	1
小 計		20件以上	32件以上		
合 計		52件以上		40件	14件

重点化事業(再生可能エネルギーによる事業経営)

現在での取り組み事例(抜粋)

■日本海側初の屋根貸し事業

- ・2013年8月より稼働中。
- ・発電状況をオンライン配信し、
地域の環境意識醸成に寄与。

(福井県越前市)



太陽光発電施設
(白崎地区農業集落排水処理施設)

■小規模地熱発電の事業化プロジェクト

- ・エネフォレスト(株)と共同出資で、
「大分地熱開発株式会社」を設立。
- ・400kw級発電所(大分県内)の2015年
売電開始に向け、事業化に着手。
- ・将来的には1,000～3,000kw級の
発電所数か所の運営を目指す。



小規模地熱発電候補地(大分県内)

重点化事業(交通技術を事業経営に展開)

現在での取り組み事例(抜粋)

■シャーロック&Dr.ワトソンによる総合サービス事業



企業の事故削減・
安全運転分析支援サービス

ドライブレコーダーに記録された
危険映像や運行データを収集し、
ドライバーの事故削減を指導。



地域の交通事故削減
支援サービス

シャーロックで収集したドライブレコーダーデータを分析し、
行政的な交通安全対策を提案。

重点化事業(保全技術をインフラ保全事業に展開)

現在での取り組み事例(抜粋)

■インフラ保全の総合的なサービス

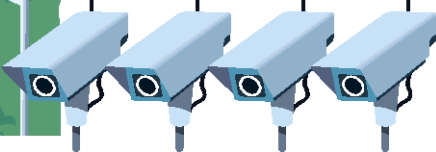
- ・ACKグループの保全技術を結集し、タブレット端末、クラウドなどのICTを活用したインフラ保全の総合的なサービスを展開。
- ・埼玉県上里町で、実証実験を実施中。
(巡回点検支援、定期点検支援、遠隔診断、異常検知のシステムを検証)



道路監視カメラ

データサーバ・異常表示部

異常アラート



異常検知システム

重点化事業(防災)

現在での取り組み事例(抜粋)

■津波避難シミュレーション

- ・群衆避難行動を、ITで再現することで、避難施設の検討などに活用。
- ・避難行動をCGアニメーション化し、地域における防災の啓蒙などに活用。

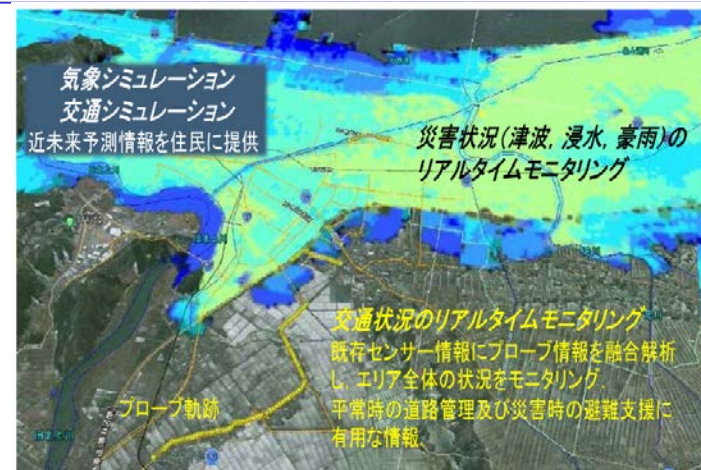
(茨城県神栖市)



避難行動のCGアニメーション

■地震発生時における車避難の研究

- ・地震発生時の津波に対する車避難の可能性を、DOMINGO(東北大学との7者の共同研究体)に参画し研究中。
- ・災害時の交通、気象データを融合し、避難施設の配置などを検討。



交通、気象データの融合

重点化事業(地域活性化)

現在での取り組み事例(抜粋)

■群馬県敷島公園を拠点とした、地域活性化マネジメント事業

- ・(株)オリエンタル群馬を、2013年3月15日に設立。
- ・「アーツ前橋 地域アートプロジェクト」始動。
(文化の振興、まちなか(地域)活性化や観光などへの波及)
- ・地域の担い手を育み、地域づくりにつなげる事業を展開。
(プロサッカースクール、熱気球係留イベントなど)



プロサッカースクール



熱気球係留イベント

重点化事業(海外新規開拓)

現在での取り組み事例(抜粋)

■トルコ国民150年の夢、ボスポラス海峡横断鉄道が開通

- ・海峡横断鉄道は、1860年のオスマン帝国時代に構想されており、150年を経てトルコ人の夢が叶えられた。
- ・2013年10月29日、安倍首相も出席され、開通式が執り行われた。
- ・(株)オリエンタルコンサルタンツは、日本のリードパートナーとして、2002年より基本設計、入札管理、施工監理に従事。



開通式の様子
(左:ユルドウルム運輸大臣、右:安倍首相)



開通記念祝賀パーティーの様子
(左:OC廣谷会長 右:ユルドウルム運輸大臣)

(トルコ国イスタンブール)

重点化事業(海外新規開拓)

現在での取り組み事例(抜粋)

■ハノイ首都圏で初のITS無償事業

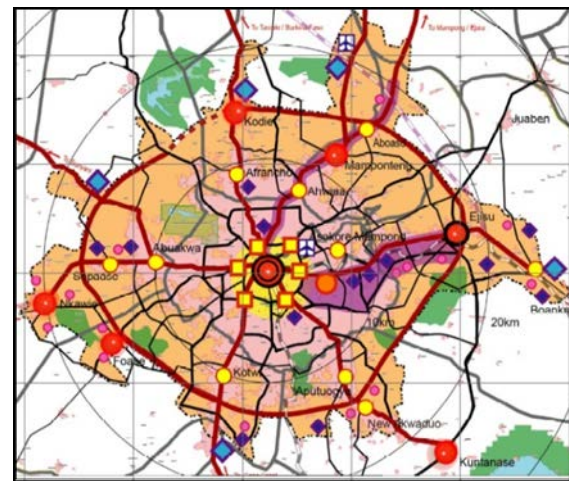
- ・PPP事業との連携で
日本の高度な技術を提供。
 - ・交通情報の正確性・交通の円滑化で
道路ユーザーの利便性向上に寄与。
- (ベトナム社会主義共和国)



可変情報板(VMS)の設置

■アフリカで都市圏計画策定調査

- ・ガーナ国第2の都市、クマシ市の都市圏
マスタープランを策定、都市の健全な
近代化及び経済発展に寄与。
 - ・ガーナ国環境・科学技術・革新省
都市地方計画局より感謝状を受領。
- (ガーナ共和国)



クマシ都市圏空間開発フレーム (2033年)

(4) 育成と連携

◆グループ外との連携推進

■(株)トーニチコンサルタントとの業務提携

- ・東南アジア諸国で鉄道分野の需要増大が強く見込まれる。
→当該分野で国内トップクラスの実績と技術力を保有する
同社との業務提携により、鉄道分野の事業に貢献。
- ・国内では、2020年の東京オリンピック開催に向け、交通・道路分野のインフラ整備のニーズ増大が予想される。
→両社が協同することで提案力、
技術力を高め、鉄道・道路分野
の事業に貢献。



調印式のようなす(2013年9月27日)

左:(株)オリエンタルコンサルタンツ 野崎社長
右:(株)トーニチコンサルタント 川東社長

(4) 育成と連携

◆グループ外との連携推進

■(株)ジェーエステックの株式取得(子会社化)

- ・河川砂防分野で高い技術力を有し、埼玉県内の市町村で豊富な業務実績があるジェーエステックの株式を取得。(子会社化)
- ・地域に密着している地域コンサルタントと協働し、シナジーの創出により事業の拡大・展開を図る。
- ・河川砂防分野に限らず、上下水道分野や道路・橋梁分野等も含めて生産力を強化し、地域の社会資本整備・維持管理に貢献。



調印式の様子(2013年11月14日)

左	: (株)ジェーエステック	崎本(新)社長
中央	: (株)オリエンタルコンサルタンツ	野崎社長
右	: (株)ジェーエステック	新谷(現)社長

(5) 基盤整備

◆ 海外拠点の整備

■ インド国デリー現地法人設立【2013年6月設立】

- ・(株)オリエンタルコンサルタンツが得意とする軌道分野での大型円借款案件が予定されるなど、最重要な市場の一つ。
- ・ローカルコンサルティング業務に参入することを契機として、同国並びに近隣諸国でのコンサルティング業務の展開を図る。



■ インドネシア国ジャカルタ現地法人設立【2013年9月決議】

- ・インドネシアは、(株)オリエンタルコンサルタンツの主要市場。
- ・開発案件等の現地政府発注案件、民間開発案件の市場へ参入し、事業を拡大する。



■ ミャンマー国ヤンゴン現地法人設立【2013年9月決議】

- ・2011年の新政権発足後、民主化・経済開放の進展と伴に経済制裁が大幅緩和されるに至っている。
- ・こらからのインフラ整備が求められる同国において、コンサルティング事業展開の足がかりとする。



感じてますか 未来の鼓動

『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』を目指し、今の業容にとらわれずサービス領域の無限大へ今後もチャレンジし続けます！



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

VII: 質疑応答





APPENDICES

ー主要トピックスー



主要トピックス(防災)

◇高知県室戸市における津波避難シェルター実施設計

- 津波避難の難しい海岸沿いの急峻な地形の地域で、
全国初となる、崖地用の横穴式津波避難シェルターを設計。
- 高台への避難が難しい高齢者も短時間で
避難可能な施設の導入により、地域住民の命を守る。



▲設計箇所(急峻な崖沿いに民家が密集) ▲崖地用津波避難シェルター(イメージ)

主要トピックス(再生可能エネルギー/スマートコミュニティ)

◇PPP(官民連携)の太陽光発電事業

- 山梨県南アルプス市(全国初)、山梨県昭和町の2市町(全国で2例)で、官民連携による太陽光発電事業を実施。
- 「負担付き寄附」方式により、自治体は、財政負担ゼロ。
- 自治体は、災害時の非常用電源として電力を使用可能。



▲太陽光発電施設(南アルプス市)



▲記者発表(H25年3月 昭和町)

主要トピックス(再生可能エネルギー/スマートコミュニティ)

◇島根県飯南町における小水力発電調査

- 維持管理が容易な砂防えん堤などを利用した、
概ね最大出力2kw以下の小水力発電の可能性を調査。
- 砂防えん堤に小水力発電設備を設置し、実証実験を開始。



▲実証実験箇所(弓谷第2ダム えん堤)

主要トピックス：交通（高度化・総合化）

◇第20回ITS世界会議 東京2013に出展

- (株)オリエンタルコンサルタンツからは、
横断者感知式注意喚起システムなどを出展。
- 、(株)エイテックからは、今年リニューアルした
可搬型交通量計測装置(MOVTRA/モバトラ)などを出展。



▲(株)オリエンタルコンサルタンツ展示ブース



▲(株)エイテック展示ブース

主要トピックス：交通（高度化・総合化）

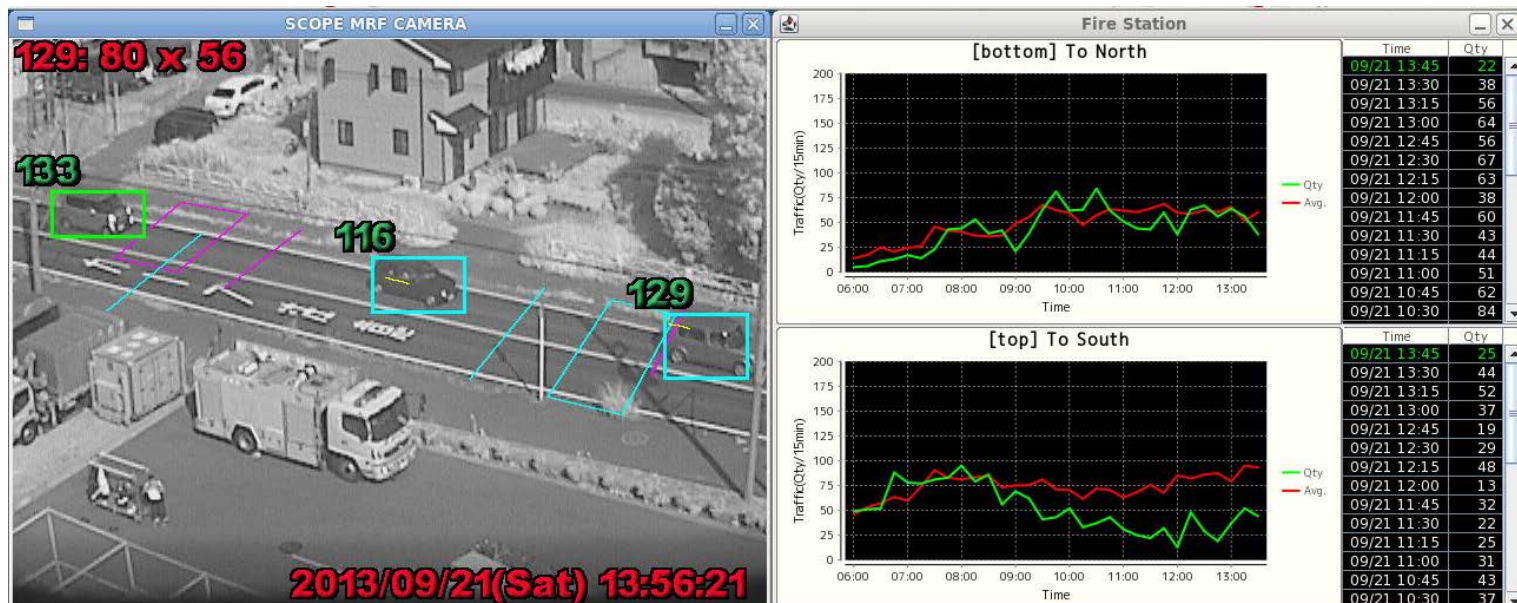
◇生活活動情報フィードバックシステム社会実験

○東京大学を中心とした7団体からなる研究グループに参加。

総務省のSCOPEの資金を活用したプロジェクトに取り組み中。

○柏地域における社会実験「かしわスマート」を実施中。

リアルタイムのCO2排出量や交通情報を市民へ提供し、
環境配慮した行動変容への「後押し」を目指す。



▲画像解析を活用したリアルタイム監視システム

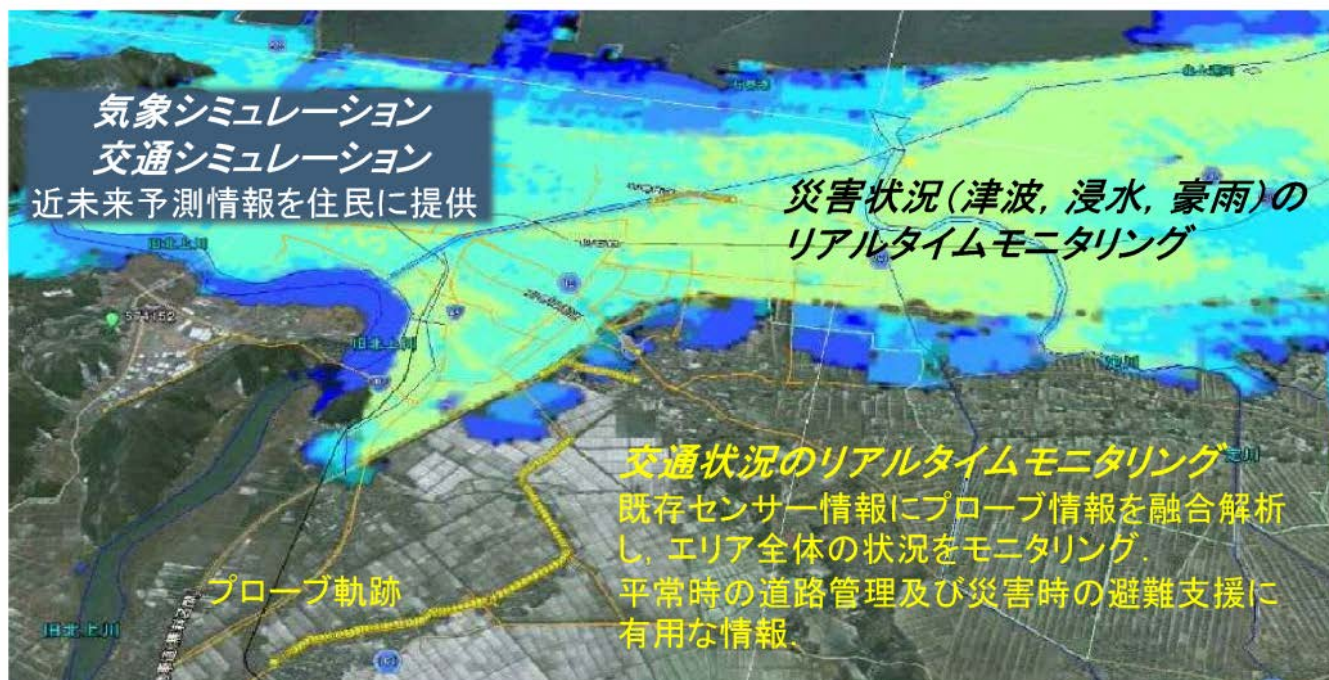
主要トピックス：交通（高度化・総合化）

◇ビッグデータを用いた災害時のモビリティ支援

○東北大学を中心とした7団体からなる研究共同体

「DOMINGO」に参加し、災害時等におけるモビリティ支援を研究。

○ビッグデータを、道路インフラ整備・管理計画支援や、
道路交通・災害状況のモニタリングと近未来の予測などに活用。



▲道路交通・災害状況のモニタリングと近未来の予測

主要トピックス(海外プロジェクト)

◇ジャカルタMRT建設事業が起工

- インドネシア国初となるMRT(大量高速輸送)の建設事業。
- (株)オリエンタル・コンサルタンツを主幹事とする3社JVと、ローカル企業6社、邦人企業1社のAssociatesが施工管理。
- 全長15.7 Km、高架駅7、地下駅6、車両基地、鉄道システム、車両96両調達の事業、2018年の運転開始を目指す。



▲起工式の様子
(2013年10月10日)



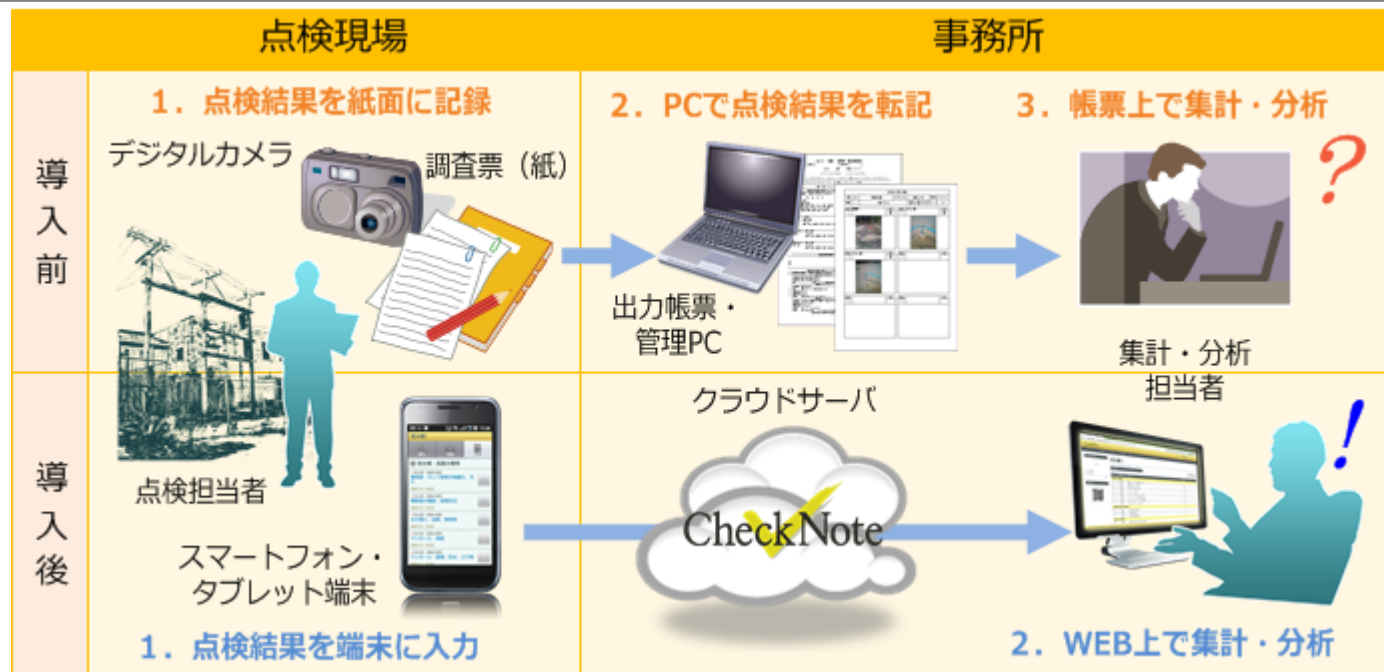
▲現地の様子
(正面左:州知事、正面右:MRTJ社長)

主要トピックス(その他)

◇スマートデバイス設備点検クラウド「CheckNote」



- 現場でスマートデバイスに入力した点検結果を、クラウドサーバに登録し、点検情報を一元管理。
- 結果の取りまとめや、帳票作成の負荷を軽減。
- インターネットで、どこからでも点検状況を確認可能。



▲『 CheckNote 』サービスイメージ

主要トピックス(その他)

◇スマートデバイス地図データ管理サービス「SOCOCA」



- 現場でスマートデバイスに入力した情報を、クラウドサーバに登録し、PC側で視覚的な管理が可能。
- インフラ施設点検、災害情報収集、不動産管理等、様々なシーンで利用可能なサービス。



▲『SOCOCA』サービスイメージ

APPENDICES

—連結決算詳細—



連結貸借対照表

(単位:百万円)

前期

当期

増減額

流動資産

12, 952

(74.7%)

15, 673

(77.6%)

2, 721

固定資産

4, 369

(25.2%)

4, 507

(22.3%)

138

資産合計

17, 338

(100.0%)

20, 189

(100.0%)

2, 851

流動負債

9, 523

(54.9%)

12, 982

(64.3%)

3, 459

固定負債

2, 382

(13.7%)

1, 441

(7.1%)

▲941

負債合計

11, 905

(68.7%)

14, 423

(71.4%)

2, 518

資本金

503

(2.9%)

503

(2.5%)

—

資本剰余金

748

(4.3%)

747

(3.7%)

▲1

利益剰余金

4, 206

(24.2%)

4, 710

(23.3%)

504

少数株主持分

258

(1.5%)

—

—

—

純資産合計

5, 432

(31.3%)

5, 765

(28.6%)

333

負債・純資産
合計

17, 338

(100.0%)

20, 189

(100.0%)

2, 851

・受取手形及び売掛金、未成業務支出金の増加等の影響

・未成業務受入金の増加等の影響

・当期純利益増加等の影響

※前期: '12/09期 当期: '13/09期

負債内訳表

(単位:百万円)	前期		当期		増減額
短期借入金	710	(6.0%)	646	(4.5%)	▲64
1年内償還予定 の社債	340	(2.9%)	340	(2.4%)	—
その他	8,473	(71.2%)	11,996	(83.2%)	3,523
流動負債計	9,523	(80.0%)	12,982	(90.0%)	3,459
社債	850	(7.1%)	510	(3.5%)	▲340
長期借入金	400	(3.4%)	—	—	▲400
その他	1,132	(9.5%)	931	(6.5%)	▲201
固定負債合計	2,382	(20.0%)	1,441	(10.0%)	▲941
負債合計	11,905	(100.0%)	14,423	(100.0%)	2,518

有利子負債
の減少

※前期: '12/09期 当期: '13/09期

連結損益計算書／受注高

(百万円)

	前期		当期		増減額	
売上高	31,190	(100.0%)	32,696	(100.0%)	1,506	・受注好調等による売上増加
売上原価	23,870	(76.5%)	25,076	(76.7%)	1,206	
販売費・一般管理費	6,944	(22.3%)	7,116	(21.8%)	172	・売上増加、経費削減等により営業利益が増加
営業利益	375	(1.2%)	503	(1.5%)	128	
経常利益	345	(1.1%)	631	(1.9%)	286	
当期純利益	227	(0.7%)	524	(1.6%)	297	
受注高	34,489	----	37,863	----	3,374	・国内外ともに、受注増加

※前期: '12/09期 当期: '13/09期

連結キャッシュ・フロー計算書

	(百万円)		
	前期	当期	増減額
営業活動による キャッシュフロー	2, 259	1, 918	▲341
投資活動による キャッシュフロー	▲320	▲456	▲136
財務活動による キャッシュフロー	▲1, 506	▲885	621
現金及び現金同等物 の四半期末残高	1, 634	2, 256	622

・受注増に伴う未成業務支出金の増加による減

・短期借入金及び、長期借入金、社債償還等の影響

※前期: '12/09期 当期: '13/09期

指標関係(連結)

	単位	前期	当期
1株当たり当期純利益(EPS)	(円)	44.79	102.55
自己資本比率	(%)	29.8	28.6
自己資本純利益率(ROE)	(%)	4.5	9.6
総資産経常利益率(ROA)	(%)	2.0	3.4
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.27	0.54

※上記は、前期：2012/9/28（279円）、当期：2013/9/30（606円）
の株価の終値をもとに整理

お問い合わせ先



JASDAQ

銘柄略称: ACKG

証券コード: 2498

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <http://www.ack-g.com>

(銘柄略称: ACKG / 証券コード: 2498)

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir-ackg@ack-g.com



本日はご多忙の中、
弊社の決算説明会にご来場いただき、
誠にありがとうございました。

